

平成23年度
実施事業

事務事業名 国際交流推進事業

区分	No	名称
章	6	担いあうまちづくり
節	2	交流によるまちづくりの推進
施策	2	海外との交流の場と機会の拡大
小分類	1	地域国際化の推進
主要な施策	1	国際交流の推進
事務事業番号	002	事業開始年度 平成 4 年度 事業終了年度 平成 - 年度 会計種別 一般会計

部 名	総務部	グループ名	政策推進グループ
-----	-----	-------	----------

事務事業の概要

《Plan・Do》

目的	(事務事業の実施目的を具体的に記入してください)
	市民の国際理解を深めることにより、本市における国際交流を推進することを目的とする。
事業内容及び実績	(事業内容及び平成23年度の実績を具体的に記入してください)
	登別市の国際交流を推進するため、国際交流団体等と連携し、国際理解を深めるための事業を実施するほか、友好都市協定を締結している海外都市との交流事業を実施する。 【平成23年度の主な事業実施内容】 ・国際交流団体による外国人研修生等受け入れに伴う支援。 ・国際交流団体との意見・情報交換会の実施。 ・国際理解講座の開催（お国紹介、料理教室等を5回開催） ・デンマーク王国ファボーミッドフン市の議員、職員の視察の受け入れ ・デンマーク王国ファボーミッドフン市の研修生の受け入れ
今後の方向性	(次年度以降の事業展開における改善など今後の方向性を具体的に記入してください)
	国際交流団体と意見・情報交換を行い連携を強化し、国際理解を深めるための事業内容の充実に努めるほか、中国広州市との友好都市協定の提携に向けた取り組みを進めていく。
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称を全て記入してください)
	平成19年 6月10日 ファボー・ミッドフン市との友好都市協定書 平成18年 11月20日 サイパン市との友好都市提携同意書 平成14年 5月19日 広州市との友好交流促進都市盟約

事業費（財源内訳）の推移

《Plan・Do》

区分		単位	H22年度 決算	H23年度 決算	H24年度 当初予算	H25年度 見込	H26年度 見込
国庫支出金	名称	千円					
道支出金	名称	千円					
地方債	名称	千円					
その他	名称	千円					
一般財源	名称	千円	544	140	228	228	228
事業費 合計			544	140	228	228	228

指標の推移

《Check》

区分		単位	区分	22年度 実績	23年度 実績	24年度 目標	25年度 目標	26年度 目標
成果 指標	講座等の参加者数（年度ベース）	人	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	112	81			
	市民・児童生徒等との交流（年度ベース）	人	目標値	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
			実績値	1,939	2,150			

現況		《Check》
現状の状態、問題点、課題等《事業前》	具体的な対策、解決の方向性《事業後》	
<p>・市内では、複数の国際交流団体が活動しているが、そのほか地域国際化の推進にあたっては、市として国際交流団体との連絡調整や海外の友好都市等との交流を行うことが必要となるなど、市が一定の役割を果たすべき場面がある。</p>	<p>・市内国際交流団体の活動とあわせて市が本事業を実施したことで多面的な交流を行えたことから、今後とも国際交流団体と連携しながら事業内容の充実に努める。</p> <p>・このほか、平成24年度には友好交流促進都市である中国広州市との友好都市提携に向けた取組が進められることから、今後における交流分野や内容の整理を行っていく。</p> <p>・また、国際交流を通じて観光への波及効果が得られるよう交流事業を推進する。</p>	

担当グループによる事務事業評価の内容（複数回答可） 《Check》

1. 事務事業の妥当性について		
市が事業主体として実施していくべき妥当性の高い事業ですか？	市が主体に行うべき事業である	判断理由及びその他所見 市民に諸外国の異文化を体験、学習する機会や場の設定のほか、地域国際化の推進にあたっては、国際交流団体との連絡調整や海外の友好都市等の交流が必要となることから、市が主体となって事業を実施することは妥当である。
	民間(事業者、市民団体等)でも実施可能である	
	国、道、他団体等との連携や広域化が可能である	
	国、道、民間等の事業と重複・類似している	
2. 事務事業の必要性について		
市民ニーズの状況等から勘案して、必要性の高い事業ですか？	市民、団体等から具体的な要望がある	判断理由及びその他所見 国際交流団体による研修生の受け入れに対する支援や、海外からの来訪者の通訳等の対応を行うなど、市内国際交流団体の声にも応えつつ事業を実施しており、地域の国際化を推進するうえで、必要性は高い。
	市民アンケートの結果から必要性が高い	
	社会情勢、地域事情等から必要性が高い	
	市民の大部分が関連することから必要性が高い	
3. 事務事業の効率性について		
事業内容とコスト(事業費)のバランスがよい効率性の高い事業ですか？	低予算、少労力で高い効果をあげている	判断理由及びその他所見 国際交流団体と意見・情報交換を行うほか、連携しながら各種事業を展開することにより地域の国際化が図られている。
	市で実施するほうが民間委託より効率性が高い	
	多額の経費や労力を要するがやむを得ない	
	将来的に効率性を向上できる	
4. 事務事業の成果について		
目的を達成するための成果はあがっていますか？	成果指標の向上が見られる	判断理由及びその他所見 多くの市民の参加のもと国際理解講座が開催されているほか、外国人研修生の学校訪問など各種事業の実施により、活発に交流が行われている。
	市民、団体等の声から成果を感じられる	
	目に見える形で成果があがっている	
	成果の把握は困難である	

担当グループによる評価 《Check》

維持	左記の評価を選択した具体的な理由(根拠)	友好都市提携に基づく海外都市との友好交流を推進するとともに、地域の国際理解を深めるため、国際交流団体と意見・情報交換を交わし連携しながら、各種取組を進めていく。
----	----------------------	--

行政評価会議による評価 《Check》

維持	備考
----	----